



日本触媒

2025年3月期第2四半期(中間期)

決算説明資料

2024年11月11日

株式会社日本触媒

代表取締役社長 野田 和宏

目次

I. 2024年度上期 実績

II. 2024年度通期 予想

III. 事業戦略と事業トピックス

IV. 株主還元

用語解説	
AA	アクリル酸
AES	アクリル酸エステル
SAP	高吸水性樹脂
EO	酸化エチレン
イオネル [®]	リチウムイオン電池用電解質
Zrシート	燃料電池用材料

■ 2024年度上期 実績 【増収・増益】

売上収益 2,069億円 営業利益 105億円 税引前中間利益 124億円 中間利益 89億円

【対前年同期 売上収益+126億円・営業利益+4億円・税引前中間利益+26億円・中間利益+21億円】

- スペシャルティケミカルズ・エレクトロニクス材料などのソリューションズ製品やAA・AESの数量が増加
- 持分法投資損益の改善

■ 2024年度通期 修正予想 【増収・増益】

売上収益 4,150億円 営業利益 200億円 税引前利益 230億円 当期利益 165億円

【対前年同期 売上収益+230億円・営業利益+34億円・税引前利益+73億円・当期利益+55億円】

- スペシャルティケミカルズ・エレクトロニクス材料などのソリューションズ製品の需要回復、SAPの数量増加

■ 株主還元 【増配】

- 中間配当 54円/株（対前年同期*+31.5円/株）、年間配当予想 108円/株（同 +63円/株）
- 自己株式取得 50億円完了（2024年5月-10月、3,005千株）

* 株式分割後

I. 2024年度上期 実績

2024年度上期 業績の概要（対前年同期）

(億円)	FY2023	FY2024	増減	増減率
	上期	上期		
	実績	実績		
売上収益	1,943	2,069	126	6.5%
営業利益	100	105	4	4.5%
(利益率)	5.1%	5.1%	▲0.1p	-
持分法による投資損益	▲ 4	17	21	-
税引前中間利益	98	124	26	27.0%
親会社の所有者に帰属する 中間利益	69	89	21	30.1%
ROE	3.7%	4.7%	1.0p	-
ROA	3.7%	4.7%	1.0p	-
ナフサ価格 (円/kL)	65,600	78,000	12,400	18.9%
円/ドル	141	153	12	8.3%
円/ユーロ	153	166	13	8.2%

セグメント別売上収益・営業利益

(億円)

市場領域	FY2023	FY2024	増減	増減率	売上収益増減要因	
	上期	上期			数量差	単価差
	実績	実績				
AA・SAP	1,101	1,122	21	1.9%	(+)	(-)
ベーシックマテリアルズ他	323	373	49	15.3%	(-)	(+)
マテリアルズ事業 合計	1,424	1,495	71	5.0%		
インダストリアル・ハウスホールド	386	430	44	11.3%	(+)	(+)
エナジー・エレクトロニクス	126	140	14	11.2%	(-)	(+)
その他	6	4	▲ 3	▲43.2%	(+)	(-)
ソリューションズ事業 合計	519	574	55	10.6%		
売上収益 合計	1,943	2,069	126	6.5%		
マテリアルズ 事業	83	81	▲ 2	▲2.5%		
ソリューションズ 事業	10	20	11	108.2%		
全社共通	7	3	▲ 4	▲55.3%		
営業利益 合計	100	105	4	4.5%		

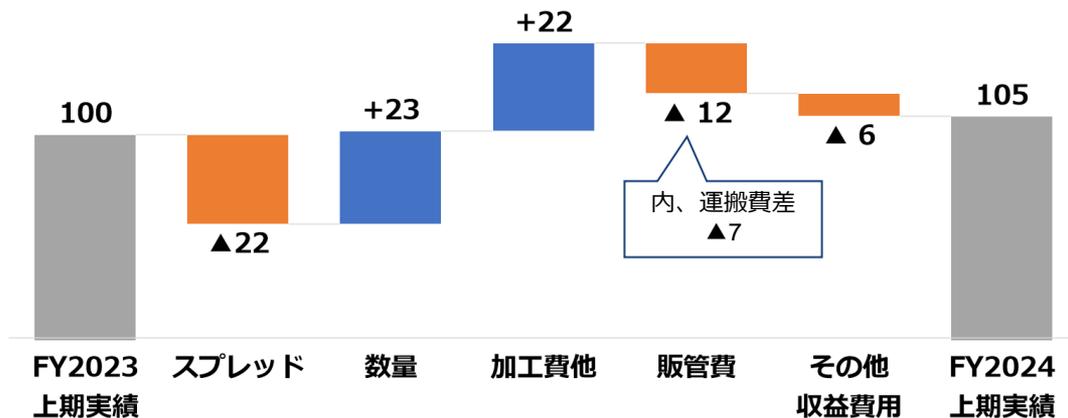
(+) 数量差増・単価差増

(-) 数量差減・単価差減

営業利益増減分析（全社）

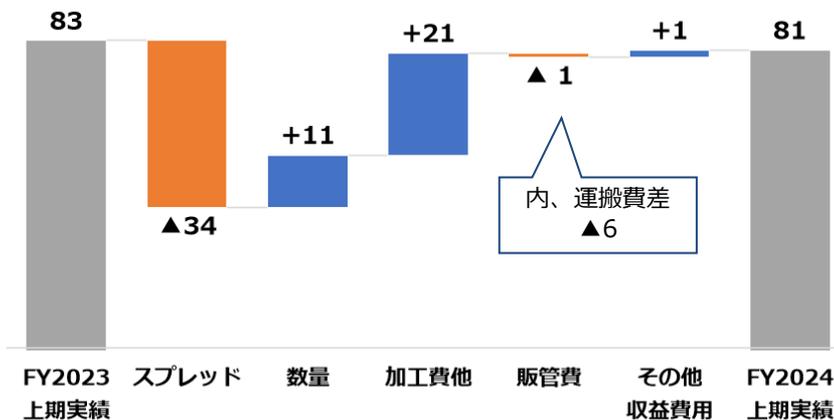
スペシャリティケミカルズ・エレクトロニクス材料などのソリューションズ製品が、
需要回復にともない数量増加

(億円)	営業利益		利益差	(内訳)			数量	加工費他	販管費	その他 収益費用	
	FY2023 上期実績	FY2024 上期実績		スプレッド	売価	変動費					
											在庫評価
全社	100	105	+4	▲ 22	+43	▲ 65	+23	+22	+15	▲ 12	▲ 6



営業利益増減分析 (マテリアルズ)

(億円)	営業利益		利益差	(内訳)			数量	加工費他 在庫評価	販管費	その他 収益費用	
	FY2023 上期実績	FY2024 上期実績		スプレッド	売価	変動費					
マテリアルズ	83	81	▲ 2	▲ 34	+16	▲ 50	+11	+21	+13	▲ 1	+1



スプレッド

- ・ SAP : 前年度の原料価格時期ずれ影響による利益および海外市況の低迷継続

数量

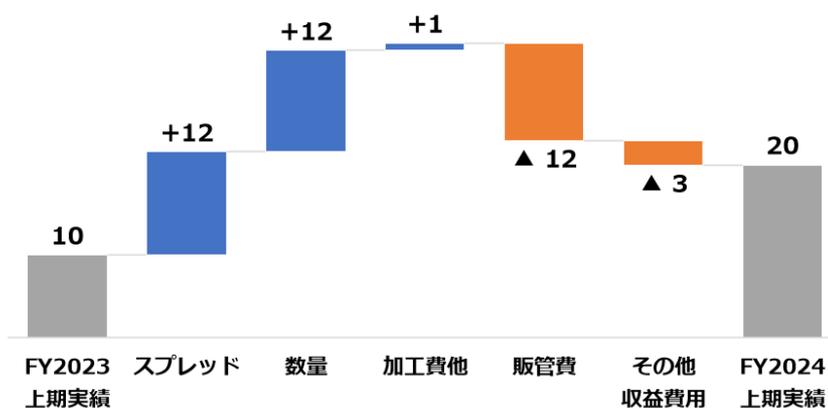
- ・ AA・AES : 新興国向けの拡販により数量増

加工費 販管費他

- ・ 加工費他 : 在庫評価差益の増加、減価償却費の減少

営業利益増減分析（ソリューションズ）

(億円)	営業利益		利益差	(内訳)			数量	加工費他		販管費	その他 収益費用
	FY2023 上期実績	FY2024 上期実績		スプレッド	売価	変動費		在庫評価			
ソリューションズ	10	20	+11	+12	+27	▲ 15	+12	+1	+2	▲ 12	▲ 3



スプレッド

- ・ インダストリアル・ハウスホールド：
円安による売価上昇によりスプレッド拡大

数量

- ・ インダストリアル・ハウスホールド：
スペシャリティケミカルズの需要が堅調に
推移し増販
- ・ エナジー・エレクトロニクス：
ディスプレイ関連は需要回復により数量増

加工費 販管費他

- ・ 販管費：
ライフサイエンスなどの研究開発に注力

Ⅱ. 2024年度通期 予想

2024年度 業績予想の概要（対前年同期）

(億円)	FY2023	FY2024	増減	増減率
	通期	通期		
	実績	予想		
売上収益	3,920	4,150	230	5.9%
営業利益	166	200	34	20.8%
(利益率)	4.2%	4.8%	0.6p	-
持分法による投資損益	▲ 10	30	40	-
税引前利益	157	230	73	46.1%
親会社の所有者に帰属する 当期利益	110	165	55	49.9%
ROE	3.0%	4.3%	1.3p	-
ROA	2.9%	4.2%	1.3p	-
ナフサ価格 (円/kL)	69,100	75,500	6,400	9.3%
円/ドル	145	149	4	2.9%
円/ユーロ	157	163	6	4.0%

セグメント別売上収益・営業利益

(億円)

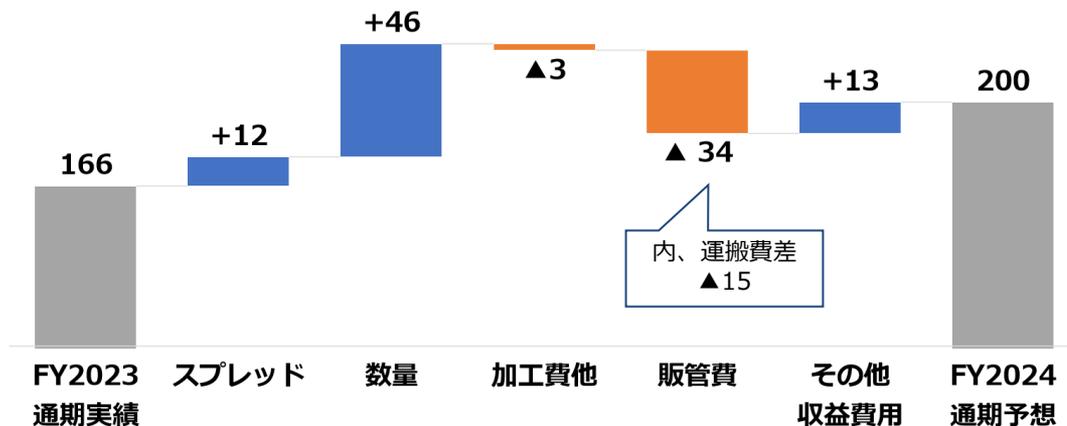
市場領域	FY2023	FY2024	増減	増減率	売上収益増減要因	
	通期	通期			数量差	単価差
	実績	予想				
AA・SAP	2,160	2,208	48	2.2%	(+)	(-)
ベーシックマテリアルズ他	678	762	84	12.3%	(+)	(+)
マテリアルズ事業 合計	2,838	2,970	132	4.6%		
インダストリアル・ハウスホールド	806	869	63	7.8%	(-)	(+)
エナジー・エレクトロニクス	264	303	38	14.6%	(+)	(+)
その他	11	8	▲ 3	▲27.7%	(+)	(-)
ソリューションズ事業 合計	1,082	1,180	98	9.1%		
売上収益 合計	3,920	4,150	230	5.9%		
マテリアルズ 事業	127	146	19	14.7%		
ソリューションズ 事業	27	46	19	68.4%		
全社共通	11	8	▲ 3	▲27.2%		
営業利益 合計	166	200	34	20.8%		

(+) 数量差増・単価差増
 (-) 数量差減・単価差減

営業利益増減分析 (全社)

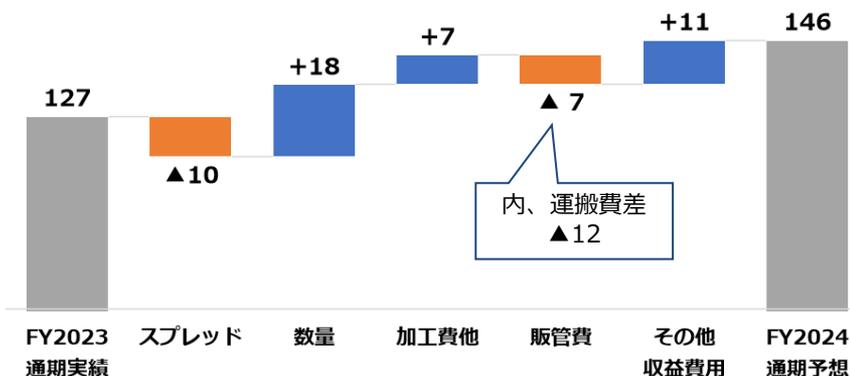
販売数量の増加により増益、一方で運搬費や研究費などの販管費は増加

(億円)	営業利益		利益差	(内訳)			数量	加工費他		販管費	その他 収益費用
	FY2023 通期実績	FY2024 通期予想		スプレッド	売価	変動費		在庫評価			
全社	166	200	+34	+12	+94	▲ 82	+46	▲ 3	▲ 9	▲ 34	+13



営業利益増減分析 (マテリアルズ)

(億円)	営業利益		利益差	(内訳)			数量	加工費他		販管費	その他 収益費用
	FY2023 通期実績	FY2024 通期予想		スプレッド	売価	変動費		在庫評価			
マテリアルズ	127	146	+19	▲ 10	+49	▲ 59	+18	+7	▲ 4	▲ 7	+11



スプレッド

- ・ AA・AES、SAP : 海外市況の低迷継続

数量

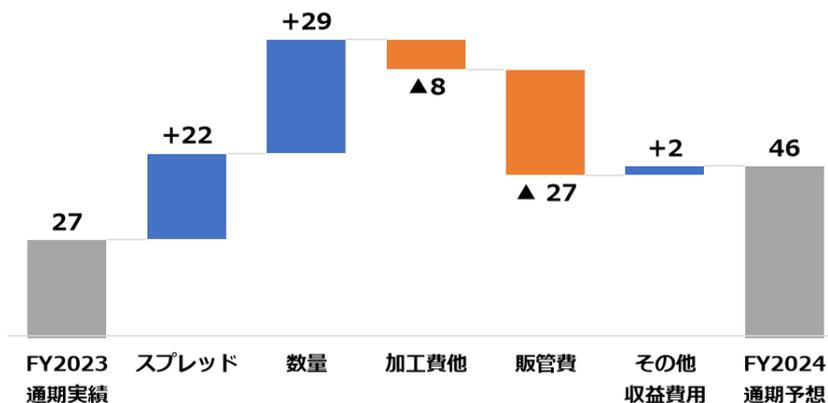
- ・ SAP、AA・AES : 新興国と国内の需要の取り込みにより数量増

加工費 販管費他

- ・ 加工費他 : 減価償却費の減少
- ・ 販管費 : 海上輸送費の上昇
- ・ その他収益費用 : 前年度の固定資産減損 (中国子会社)

営業利益増減分析 (ソリューションズ)

(億円)	営業利益		利益差	(内訳)			数量	加工費他		販管費	その他 収益費用
	FY2023 通期実績	FY2024 通期予想		スプレッド	売価	変動費		在庫評価			
ソリューションズ	27	46	+19	+22	+45	▲ 23	+29	▲ 8	▲ 5	▲ 27	+2



スプレッド

- ・ インダストリアル・ハウスホールド：
スペシャリティケミカルズ向けで売価上昇
円安の進行などによりスプレッド改善

数量

- ・ インダストリアル・ハウスホールド：
スペシャリティケミカルズの需要が堅調に
推移し増販
- ・ エナジー・エレクトロニクス：
ディスプレイ関連需要の回復を見込み
数量増

加工費 販管費他

- ・ 加工費他：
製造固定費の増加
- ・ 販管費：
ライフサイエンスなどの研究費の増加

Ⅲ. 事業戦略と事業トピックス

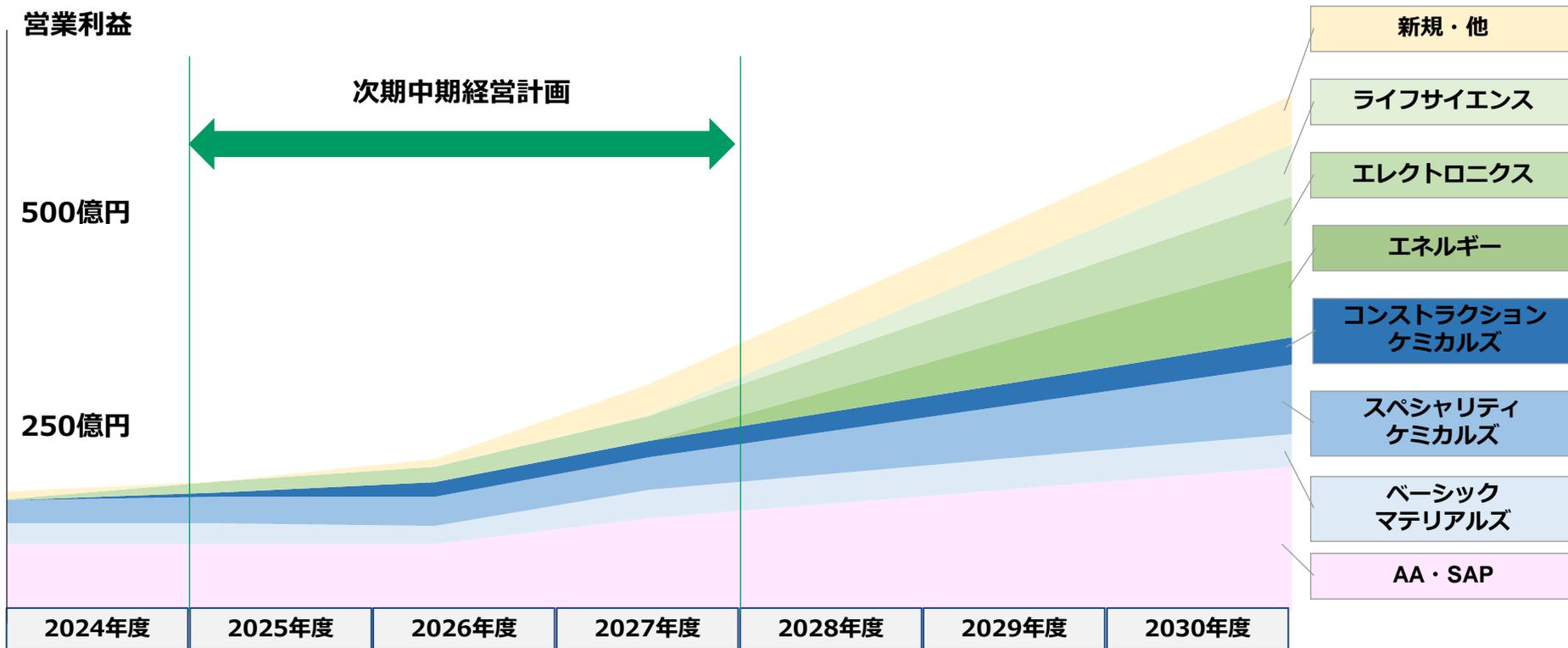
事業戦略 概要

コア事業	AA・SAP	ベーシック マテリアルズ	スペシャリティ ケミカルズ	コンストラクション ケミカルズ
	アクリル酸 高吸水性樹脂 <ul style="list-style-type: none"> ● 成長市場での生産能力増強と低効率設備の停止 ● グローバルサウスへの販売強化 	酸化エチレン他 <ul style="list-style-type: none"> ● 供給体制拡充 ● 受託案件・協業案件の拡大 	水処理剤・CO2吸収剤・ コーティング用材料 <ul style="list-style-type: none"> ● 環境意識の高まりから需要が期待できる水処理剤やCO2吸収剤等の材料であるアミン類の拡販 	建材・建築塗料用樹脂 コンクリート混和剤用ポリマー <ul style="list-style-type: none"> ● エマルションを基点とした建築資材ラインナップ拡充 ● 北米市場の取り組み強化
成長事業	エネルギー	エレクトロニクス	ライフサイエンス	
	電池材料・水素関連材料 <ul style="list-style-type: none"> ● 電池需要の拡大に応じたイオネルの増強 ● Zrシートの能力増強、新規技術の開発 	ディ스플레이材料 半導体材料 <ul style="list-style-type: none"> ● ディ스플레이材料の中国市場でのシェア拡大 ● 半導体材料(レジスト、微粒子他)拡販 	中分子医薬CDMO <ul style="list-style-type: none"> ● 受託案件増加に応じた生産設備の拡充 ● 海外需要の取込み 	

事業戦略 スケジュール

	2025～2027年度	2028～2030年度
AA・SAP	インドネシアでのSAP能力増強・拡販 グローバルサウスへの販売強化	
ベーシックマテリアルズ	受託案件・協業案件の拡大	供給体制拡充
スペシャリティケミカルズ	アミン類の拡販	
コンストラクションケミカルズ	建築資材ラインナップ拡充	
エネルギー	イオネル 中国増強 Zrシート能力増強	イオネル 日本増強 イオネル 北米増強
エレクトロニクス	ディスプレイ材料の中国市場でのシェア拡大 半導体材料(レジスト、微粒子他)拡販	
ライフサイエンス	中分子原薬の生産設備の拡充	更なる生産設備拡充

事業戦略 営業利益拡大イメージ



事業トピック① AA/SAP 世界需給動向

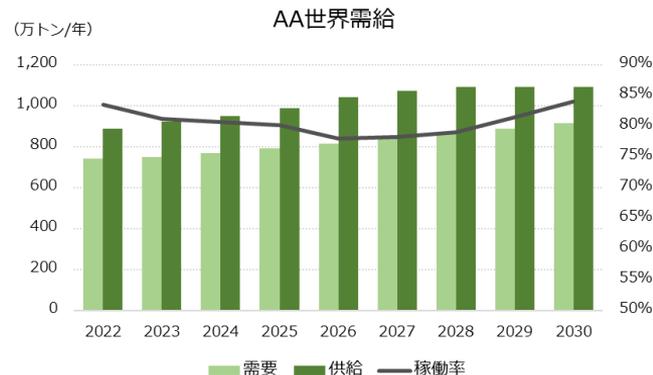
【AA】 2027年で需給バランスが底打ち

■ 需給動向

需要 世界需要 約770万トン（2024年推定）
 中期的に年率3%の成長を見込む（新興国では5%以上の成長を想定）

供給 2024年 増設/停止計画世界合計(年産能力) 約10万トン
 2025年以降 増設/停止計画世界合計(年産能力) 約80-100万トン

- ・当社の戦略：グローバルサプライヤーとして安定した収益/キャッシュを生み出す
- ・AA 5 極の生産拠点を活かし地産地消の要請に応える
- ・AA自消拡大による安定稼働維持（AA・SAP一体運営）



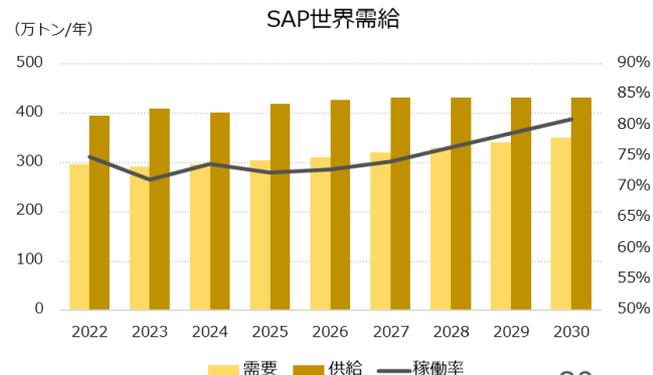
【SAP】 2025年で需給バランスが底打ち

■ 需給動向

需要 世界需要 約300万トン（2024年推定）
 中期的に年率3%の成長を見込む（新興国では5%以上の成長を想定）

供給 2024年 増設/停止計画世界合計(年産能力) ▲約10万トン
 2025年以降 増設/停止計画世界合計(年産能力) 約30万トン

- ・当社の戦略：グローバルサプライヤーの強みを活かして中長期視野で賢く稼ぐ
- ・グローバルサウス（インドネシア、インド、アフリカ）市場の拡大
- ・主要顧客とのパートナーシップ堅持

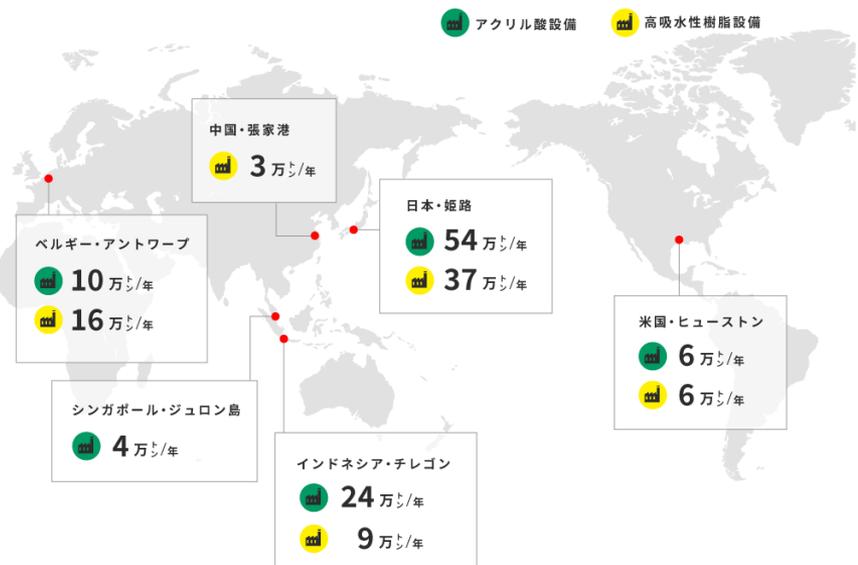


事業トピック① AA/SAP SAP増設

生産能力	日本触媒グループ						合計 (万トン/年)
	日本	インドネシア	ベルギー	米国	シンガポール	中国	
アクリル酸設備	54	24	10	6	4	0	98
高吸水性樹脂設備	37	9	16	6	0	3	71

新規増設
インドネシア
0
5

+



インドネシア子会社でSAP増設

生産能力 : 5万トン/年 (既存能力と合計14万トン/年)

時期 : 2027年1月完工、2027年7月商業運転開始

設備投資額 : 約110百万米ドル

投資目的・背景 :

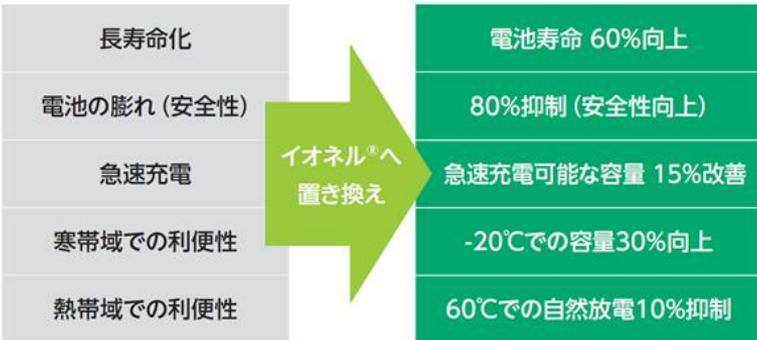
- ① AAからSAPを一貫生産する強みを活かしてアジア圏内の旺盛なSAP需要の伸びに対応
- ② 姫路のSAPプラントの内、生産性の低い旧型設備については、必要に応じて停止措置

(グループでの全体最適を図る)

事業トピック② イオネル 優位性と今後の展望

■ 既存電解質との差別化ポイント

現行車載電池の課題

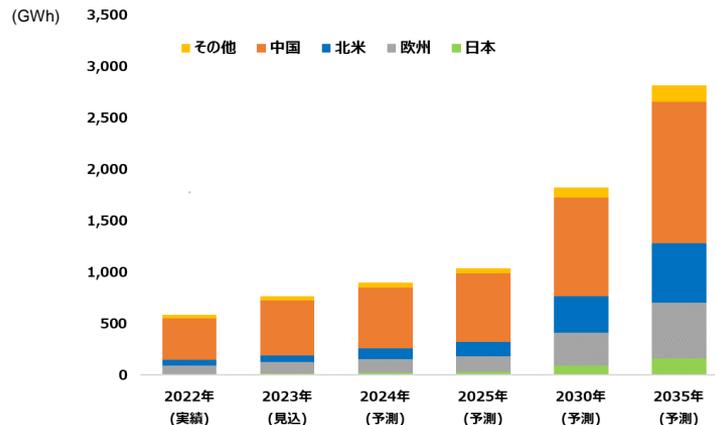


※現行電池に使用されるLi塩 LiPF₆ (六フッリン酸リチウム)

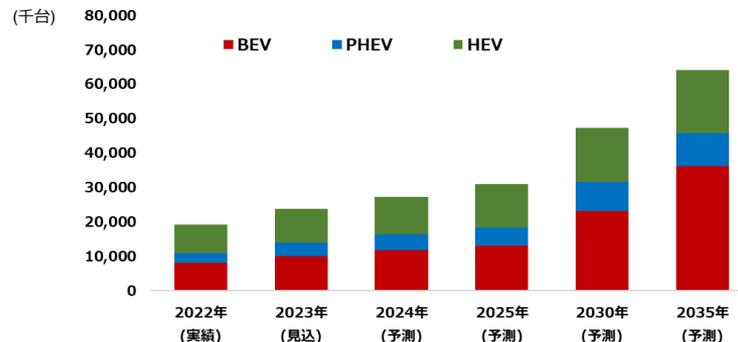
※当社における電池データの一例 参考リンク：製品情報 日本触媒 (<https://www.shokubai.co.jp/ja/products/detail/lifsi/>)

外部データ一例：<https://www.sciencedirect.com/science/article/pii/S1388248119301080?via%3Dihub>

■ 車載用LIB市場規模推移(地域別)



■ xEV世界生産台数予測(車種別)



IV. 株主還元

株主還元

● 【大幅な増配】

	FY2023 上期	FY2024 上期	増減	FY2023 通期	FY2024 通期(予想)	増減
1株当たり配当額	90.0円	(216.0円)	+126.0円	180.0円	(432.0円)	+252.0円
分割後	(22.5円)	54.0円	+31.5円	(45.0円)	108.0円	+63.0円

*参考として、FY2023は株式分割後の数値を、FY2024は株式分割前の数値を括弧書きで記載

(資本政策の考え方)

2027年度末までに株主資本比率を60%近傍まで引き下げる

(2024年度～2027年度の方針) 配当性向 100% + 自己株式取得

- ・配当性向 100% 又は DOE 2.0%のいずれか大きい金額を還元する
- ・政策保有株式縮減で得た資金等の余剰資金で自己株式の取得を実施する (2027年度までに 約200億円を予定)

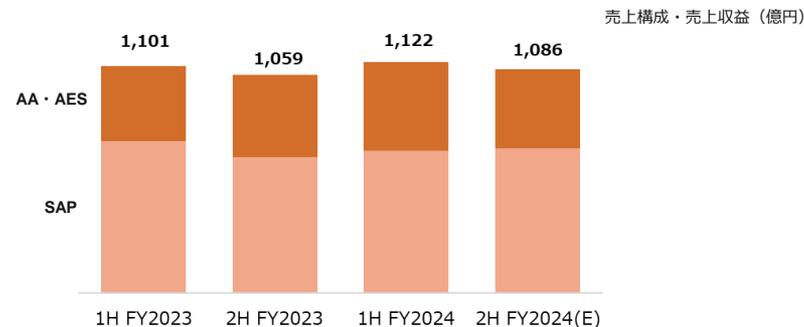
● 還元推移

	FY2020	FY2021	FY2022	FY2023	FY2024 (予想)
一株当たり年間配当額 (円)	90	180	180	180	(432)
分割後	(23)	(45)	(45)	(45)	108
配当性向 (%)	-	30.3	36.9	63.9	100.0
DOE (%)	1.1	2.2	2.0	1.9	4.3
配当額 (億円)	36	72	71	70	164
自己株式取得額 (億円)	0	0	30	40	50
総還元額 (億円)	36	72	101	110	214
当期利益 (億円)	▲ 109	237	194	110	165
総還元性向 (%)	-	30.3	52.2	99.7	129.6

参考資料 事業の概況

上期：事業の状況【AA・SAP】

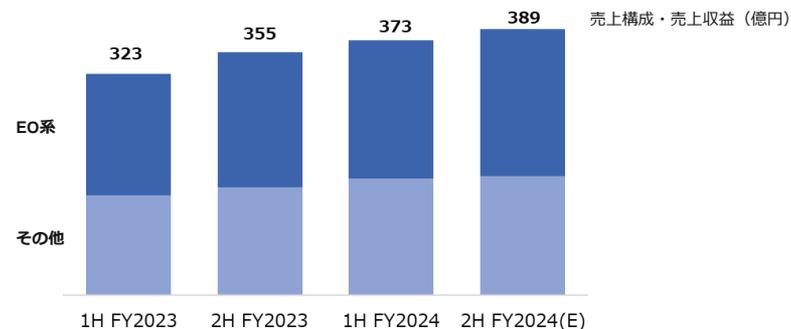
市場領域		主な製品
AA・SAP	AA・AES	<ul style="list-style-type: none"> ・アクリル酸 ・アクリル酸エステル他
	SAP	<ul style="list-style-type: none"> ・高吸水性樹脂



市場領域	市場環境	当社の状況(対前年同期)	今後の取組み
AA・AES	<ul style="list-style-type: none"> ・中国景気低迷によるアジア市況の低調継続 ・国内需要は自動車と電材向けに堅調、建築向けは低調に推移 	<ul style="list-style-type: none"> ・海外市況下落によるスプレッド悪化継続 ・インドを中心とした新興国向け拡販により数量増 	<ul style="list-style-type: none"> ◆短期 <ul style="list-style-type: none"> ・グループ全体の生産最適化 ・インドや東南アジアの需要の取込み ◆中長期 <ul style="list-style-type: none"> ・安定的な販売先確保およびコスト削減策の実行
SAP	<ul style="list-style-type: none"> ・新興国の子供向けおむつ需要が伸長するが、インフレの影響等により世界需要は微増にとどまる見込み 	<ul style="list-style-type: none"> ・新興国での拡販や国内市場でのシェアアップにより数量増 ・海外市況下落によるスプレッド悪化 	<ul style="list-style-type: none"> ◆短期 <ul style="list-style-type: none"> ・国内再編に伴う顧客取り込み ・新興国の市場成長に合わせた需要の取込み ・コスト削減による収益性向上 ◆中長期 <ul style="list-style-type: none"> ・中長期的な需要増加に向けた供給体制の検討 ・サステナブル対応（バイオ、リサイクル） ・インドネシアでの研究体制構築

上期：事業の状況【ベーシックマテリアルズ他】

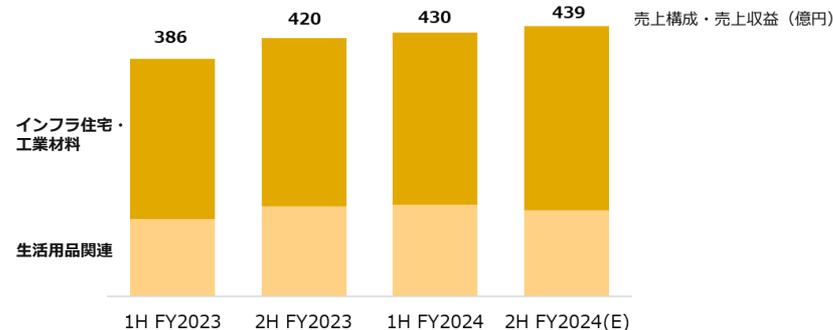
市場領域		主な製品
ベーシックマテリアルズ他	EO系	<ul style="list-style-type: none"> ・酸化エチレン(EO) ・エチレングリコール(EG) ・エタノールアミン(EA)
	その他	<ul style="list-style-type: none"> ・特殊エステル ・プロセス触媒



市場領域	市場環境	当社の状況(対前年同期)	今後の取組み
ベーシックマテリアルズ他	<p>【EO系】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・世界的なEG需給バランスの軟化継続 ・内需は界面活性剤用途を中心に低迷 	<p>【EO系】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・原燃料や固定費、修繕費の上昇に伴う製品値上げを実施 ・市況低迷によりEGの輸出停止を継続 ・内需低迷により販売数量減 	<p>【EO系】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆短期 <ul style="list-style-type: none"> ・国内最大のEOメーカーとして、安定供給体制を維持 ・EO誘導品の拡充 ◆中長期 <ul style="list-style-type: none"> ・川上・川下・同業他社とのアライアンスを検討

上期：事業の状況【インダストリアル・ハウスホールド①】

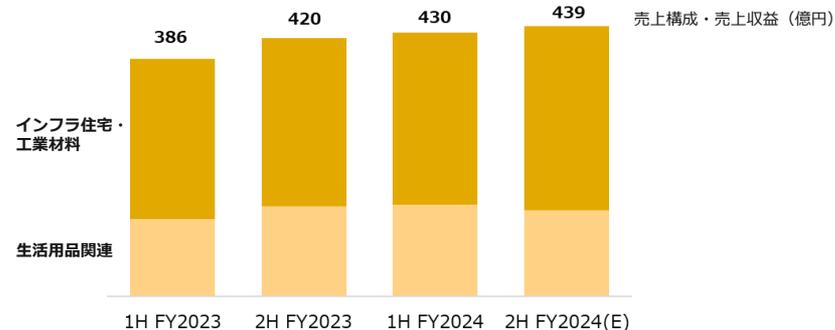
市場領域		主な製品
インダストリアル・ ハウスホールド	インフラ住宅・ 工業材料	<ul style="list-style-type: none"> ・コンクリート混和剤用ポリマー ・アクリル樹脂 ・各種アミン類
	生活用品関連	<ul style="list-style-type: none"> ・ポリカルボン酸系ポリマー ・セカンダリアルコールエトキシレート



市場領域	市場環境	当社の状況(対前年同期)	今後の取組み
インフラ住宅・ 工業材料	<p>【インフラ住宅】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コンクリート関連の世界需要は伸長、国内需要は漸減継続 ・国内リフォーム需要は堅調 <p>【工業材料】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・世界の環境規制強化の流れに関連した各種アミン類が脚光 	<p>【インフラ住宅】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・混和剤用ポリマーは海外市場での中国・韓国品との競合により数量減 ・塗料用アクリル樹脂はリフォーム向けで堅調 ・新築の減少により窯業建材向け数量減 <p>【工業材料】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・エチレンイミンは需要の回復にともない数量増 	<p>◆短期</p> <p>【インフラ住宅】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・既存品のスプレッド維持拡大を図りながら、高機能製品によるシェア拡大を目指す <p>【工業材料】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・環境対応に向けた各種アミン類の開発に注力(中長期を含む) <p>◆中長期</p> <p>【インフラ住宅】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・汎用品から高付加価値品へのシフト ・CO2削減コンクリートをはじめとする環境対応製品に注力

上期：事業の状況【インダストリアル・ハウスホールド②】

市場領域		主な製品
インダストリアル・ハウスホールド	インフラ住宅・工業材料	<ul style="list-style-type: none"> ・コンクリート混和剤用ポリマー ・アクリル樹脂 ・各種アミン類
	生活用品関連	<ul style="list-style-type: none"> ・ポリカルボン酸系ポリマー ・セカンダリーアルコールエトキシレート

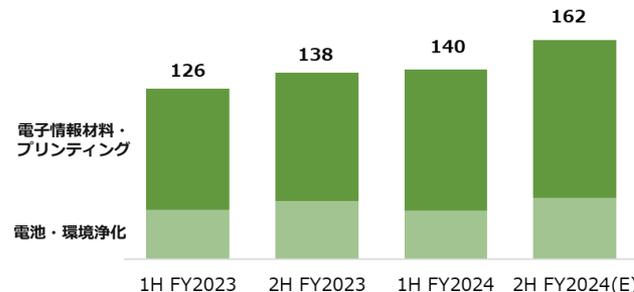


市場領域	市場環境	当社の状況(対前年同期)	今後の取組み
生活用品関連	<ul style="list-style-type: none"> ・洗剤分野は、中国景気低迷により販売数量減 ・インフレに伴う節約志向により、低価格帯へシフト傾向 	<ul style="list-style-type: none"> ・高付加価値製品で使用される当社製品の販売数量減 ・海外市場での競合との価格競争激化により販売数量減 ・特定顧客向け開発品は堅調 	<ul style="list-style-type: none"> ◆短期 <ul style="list-style-type: none"> ・原料価格、用役費等の上昇に伴う価格是正 ・販売チャネル拡充とターゲット顧客へ販促活動の強化 ◆中長期 <ul style="list-style-type: none"> ・需要に見合った生産体制の最適化 ・新規高機能製品・環境対応製品(バイオ原料・生分解)に注力

上期：事業の状況【エネルギー・エレクトロニクス①】

市場領域		主な製品
エネルギー・エレクトロニクス	電子情報材料・プリンティング	<ul style="list-style-type: none"> ・アクリビユア[®](光学フィルム用アクリル樹脂) ・レジスト材料 ・微粒子 ・VEEA[®](異種重合性モノマー)
	電池・環境浄化	<ul style="list-style-type: none"> ・イオネル[®] ・燃料電池用材料 ・環境触媒 ・自動車触媒

売上構成・売上収益(億円)

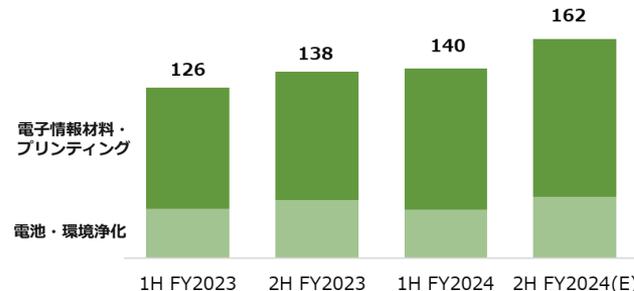


市場領域	市場環境	当社の状況(対前年同期)	今後の取組み
電子情報材料・プリンティング	<ul style="list-style-type: none"> ・液晶ディスプレイ市場の中国シフトが継続 ・TV用パネルの大型化、パネル稼働率上昇などにより、液晶ディスプレイ用素材の需要が回復基調 	<ul style="list-style-type: none"> ・中国向けの段階的な需要取り込みを中心に液晶パネル関連製品が販売増 	<ul style="list-style-type: none"> ◆短期 <ul style="list-style-type: none"> ・液晶ディスプレイ市場の中国シフトに対応した拡販 ・高付加価値製品の拡販 ◆中長期 <ul style="list-style-type: none"> ・次世代ディスプレイ向けの新規製品開発 ・半導体をはじめとする中長期成長市場への参入

上期：事業の状況【エネルギー・エレクトロニクス②】

市場領域	主な製品
エネルギー・エレクトロニクス	<ul style="list-style-type: none"> 電子情報材料・プリンティング ・アクリビユア®(光学フィルム用アクリル樹脂) ・レジスト材料 ・微粒子 ・VEEA®(異種重合性モノマー)
	<ul style="list-style-type: none"> 電池・環境浄化 ・イオネル® ・燃料電池用材料 ・環境触媒 ・自動車触媒

売上構成・売上収益(億円)



市場領域	市場環境	当社の状況(対前年同期)	今後の取組み
電池・環境浄化	<p>【電池】</p> <ul style="list-style-type: none"> 中国はEV販売堅調も、成長鈍化によりLIB市場は競争激化 欧州では景気後退でEV販売減 米国IRA法適用猶予で2026年末までは中国製電池材料が使用可能に 欧米韓でSOFC/SOEC急拡大 <p>【環境浄化】</p> <ul style="list-style-type: none"> CO2排出の少ない排ガス処理・排水処理触媒のニーズが高まる 	<p>【電池】</p> <ul style="list-style-type: none"> イオネル：日本市場向けで販売堅調。一方、欧米では市況が大幅に下落する中、価格競争力の高い中国JV品への切り替えに向け、顧客認証の手続き中 Zrシート：市場は拡大中だが、顧客の一時的在庫調整により販売減 <p>【環境浄化】</p> <ul style="list-style-type: none"> 排ガス処理(触燃)触媒および排水処理触媒の販売数量増、脱硝触媒は数量減 	<p>◆短期</p> <p>【電池】</p> <ul style="list-style-type: none"> イオネル：日欧米へ販路拡大、中国市場での中国JV品販売拡大 <p>【環境浄化】</p> <ul style="list-style-type: none"> 排水処理触媒、触燃触媒の海外展開強化 <p>◆中長期</p> <p>【電池】</p> <ul style="list-style-type: none"> イオネル：地産地消の戦略に沿った生産体制構築に向け、国内は助成金を活用し福岡県に年産3千トンの新設備建設を計画。北米も事業化を検討中。差別化のために周辺材料の新規開発を加速 Zrシート：生産能力の大幅増強とコストダウン <p>【環境浄化】</p> <ul style="list-style-type: none"> GX関連製品の開発・投入

市場領域	主な製品	市場環境	当社の状況(対前年同期)	今後の取組み
健康・医療	<ul style="list-style-type: none"> ・中分子原薬受託製造 <ul style="list-style-type: none"> ➢ オリゴ核酸 ➢ ペプチド ・医薬品開発支援 <ul style="list-style-type: none"> ➢ HDO（ヘテロ二本鎖核酸） ➢ DDSポリマー ➢ カチオン性ペプチド（Dab8葉酸） 	<ul style="list-style-type: none"> ・中分子医薬品（核酸／ペプチド）は高い成長率を維持 ・成長率（2020～2030年） <ul style="list-style-type: none"> ・核酸：17% ・ペプチド：8% 	<ul style="list-style-type: none"> ・微量少量製造の獲得件数は上期末時点で昨年度年間受注件数の約1.6倍と急成長 ・大量製造案件の獲得は苦戦 	<ul style="list-style-type: none"> ◆短期 <ul style="list-style-type: none"> ・北米展開強化 ・M&Aや他社アライアンスでの成長戦略の検討 ◆中長期 <ul style="list-style-type: none"> ・中～大量規模の受託案件の取込み強化
化粧品	<ul style="list-style-type: none"> ・多機能性ポリマー ・エマルジョンポリマー ・リポソーム ・天然由来製品 ・既存製品（PVP、有機酸、PEI） 	<ul style="list-style-type: none"> ・高機能素材への開発要求 ・天然由来素材へのニーズの高まり ・各国規制の強化 	<ul style="list-style-type: none"> ・多機能性ポリマー：中国向けカスタマイズ品受注完了、下期から納入開始 ・エマルジョンポリマー：販売中 多用途向け展開を開始 ・増粘微粒子：粒子径の異なる3品番をサンプルワーク開始、年度内製品化予定 ・既存製品（PVP、有機酸、PEI等）の化粧品用途での採用拡大 ・日本乳化剤と連携したフェノキシエタノールの市場開拓開始 	<ul style="list-style-type: none"> ◆短期 <ul style="list-style-type: none"> ・市場開拓・採用促進 ・新規製品の上市促進 ◆中長期 <ul style="list-style-type: none"> ・天然由来/環境にやさしい素材開発の強化 ・提携/協業
事業創出	<ul style="list-style-type: none"> ・アルカリ水電解セパレータ ・アンモニア分解触媒 ・海水淡水化向け浸透圧発生剤 	<ul style="list-style-type: none"> ・水素・アンモニア利用検討が加速 ・海水淡水化・排水処理技術へのニーズの高まり 	<ul style="list-style-type: none"> ・アルカリ水電解用セパレータの大型膜開発に目途 ・アンモニア分解触媒で2種類の触媒プロトタイプを新規に開発（オートサーマル改質型、外部熱型） ・ハワイ海水淡水化パイロットプラントでの実証データ取得完了 	<ul style="list-style-type: none"> ◆中長期 <ul style="list-style-type: none"> ・アルカリ水電解用セパレータの上市・グローバル展開 ・アンモニア分解触媒のパートナー連携による社会実装の推進 ・浸透圧発生剤の排水処理用途（石油掘削など）への展開

参考資料 財務数値・市況

2024年度業績予想修正 概要（8月7日発表値との比較）

(億円)	前回予想			今回予想			差異		
	8/7発表値			11/7発表値					
	上期	下期	通期	上期 (実績)	下期	通期	上期	下期	通期
売上収益	2,100	2,050	4,150	2,069	2,081	4,150	▲ 31	31	0
営業利益	90	90	180	105	95	200	15	5	20
(利益率)	4.3%	4.4%	4.3%	5.1%	4.6%	4.8%	0.8p	0.2p	0.5p
持分法による投資損益	15	5	20	17	13	30	2	8	10
税引前利益	110	95	205	124	106	230	14	11	25
親会社の所有者に帰属する 当期利益	80	70	150	89	76	165	9	6	15
ROE	4.1%	3.6%	3.9%	4.7%	4.0%	4.3%	0.6p	0.4p	0.4p
ROA	4.0%	3.5%	3.7%	4.7%	3.9%	4.2%	0.7p	0.4p	0.5p
ナフサ価格 (円/kL)	79,000	75,000	77,000	78,000	73,000	75,500	▲ 1,000	▲ 2,000	▲ 1,500
円/ドル	155	150	153	153	145	149	▲ 3	▲ 5	▲ 4
円/ユーロ	166	160	163	166	160	163	-	-	-

セグメント別 売上収益・利益 (8月7日発表値との比較) 日本触媒

市場領域 (億円)	前回予想			今回予想			差異		
	8/7発表値			11/7発表値					
	上期	下期	通期	上期(実績)	下期	通期	上期	下期	通期
AA・SAP	1,170	1,075	2,245	1,122	1,086	2,208	▲ 48	11	▲ 37
ベーシックマテリアルズ他	350	355	705	373	389	762	23	34	57
マテリアルズ事業 合計	1,520	1,430	2,950	1,495	1,475	2,970	▲ 25	45	20
インダストリアル・ハウスホールド	437	445	881	430	439	869	▲ 7	▲ 6	▲ 12
エナジー・エレクトロニクス	138	169	308	140	162	303	2	▲ 7	▲ 5
その他	5	6	11	4	5	8	▲ 1	▲ 1	▲ 3
ソリューションズ事業 合計	580	620	1,200	574	606	1,180	▲ 6	▲ 14	▲ 20
売上収益 合計	2,100	2,050	4,150	2,069	2,081	4,150	▲ 31	31	0
マテリアルズ 事業	78	57	135	81	65	146	3	8	11
ソリューションズ 事業	9	28	37	20	26	46	11	▲ 2	9
全社共通	3	5	8	3	5	8	0	▲ 0	0
営業利益 合計	90	90	180	105	95	200	15	5	20

連結財政状態計算書

(億円)

	2024年 3月末	2024年 9月末	増減
現金及び現金同等物	551	550	▲ 1
営業債権	982	921	▲ 61
棚卸資産	844	817	▲ 27
その他	219	172	▲ 48
流動資産合計	2,597	2,460	▲ 137
有形固定資産	1,884	1,818	▲ 67
無形資産	50	47	▲ 2
持分法で会計処理されている投資	265	290	▲ 25
その他	645	612	▲ 32
非流動資産合計	2,844	2,767	▲ 77
資産合計	5,441	5,227	▲ 214

	2024年 3月末	2024年 9月末	増減
営業債務	614	497	▲ 117
借入金	390	330	▲ 60
その他	511	493	▲ 19
負債合計	1,515	1,319	▲ 196
資本金	250	250	-
自己株式	▲ 24	▲ 65	▲ 41
利益剰余金	2,984	3,067	▲ 82
その他	623	563	▲ 60
非支配持分	91	92	▲ 1
資本合計	3,926	3,908	▲ 18
負債及び資本合計	5,441	5,227	▲ 214

D/Eレシオ (倍)	0.12	0.10
有利子負債	456	387

(億円)

	FY2023 上期実績	FY2024 上期実績	増減
営業活動によるキャッシュ・フロー	334	230	▲ 104
税引前中間利益	98	124	26
減価償却費及び償却費	160	158	▲ 2
営業債権債務・棚卸資産の増減	120	▲ 43	▲ 163
その他	▲ 44	▲ 10	35
投資活動によるキャッシュ・フロー	▲ 88	▲ 76	12
フリーキャッシュ・フロー	246	154	▲ 92
財務活動によるキャッシュ・フロー	▲ 158	▲ 143	15
借入金が増減額	▲ 109	▲ 51	58
自己株式の取得による支出	▲ 0	▲ 41	▲ 41
配当金の支払額	▲ 35	▲ 35	1
その他	▲ 14	▲ 16	▲ 3
現金及び現金同等物の中間期末残高	498	550	53

セグメント別売上収益・営業利益（上期・下期推移）

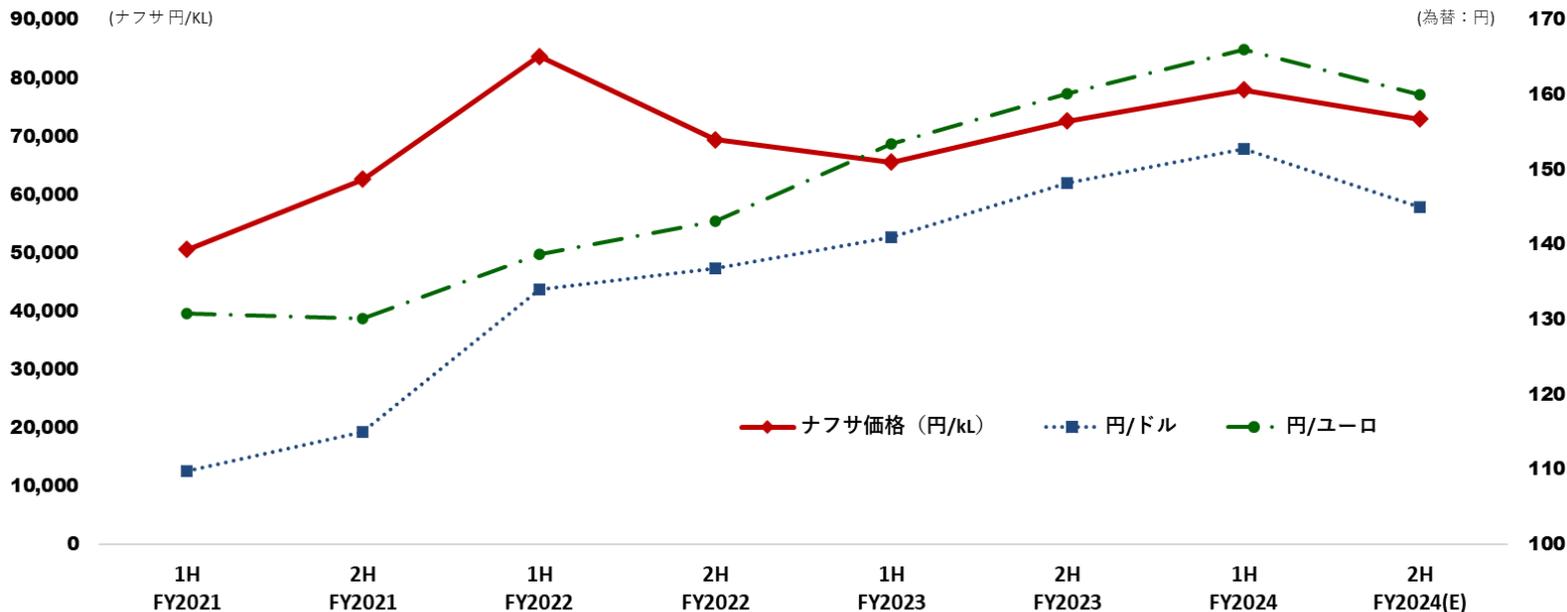
(億円)

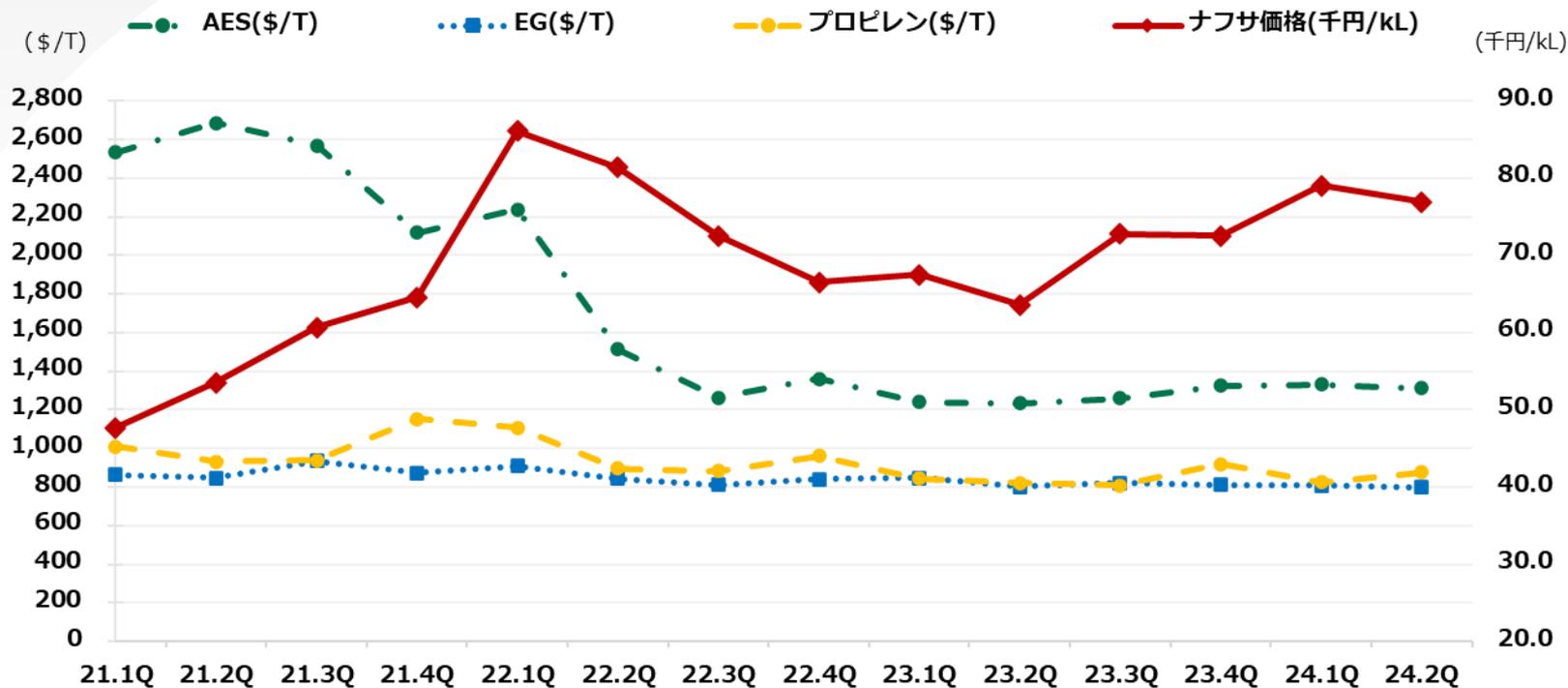
市場領域	FY2022			FY2023			FY2024予想		
	上期	下期	通期	上期	下期	通期	上期	下期（予想）	通期（予想）
AA・SAP	1,231	1,091	2,321	1,101	1,059	2,160	1,122	1,086	2,208
ベーシックマテリアルズ他	375	361	736	323	355	678	373	389	762
マテリアルズ事業 合計	1,605	1,451	3,057	1,424	1,414	2,838	1,495	1,475	2,970
インダストリアル・ハウスホールド	463	427	890	386	420	806	430	439	869
エナジー・エレクトロニクス	122	115	236	126	138	264	140	162	303
その他	7	6	13	6	5	11	4	5	8
ソリューションズ事業 合計	591	548	1,139	519	563	1,082	574	606	1,180
売上収益 合計	2,197	1,999	4,196	1,943	1,977	3,920	2,069	2,081	4,150
マテリアルズ 事業	141	68	209	83	44	127	81	65	146
ソリューションズ 事業	26	▲ 11	15	10	17	27	20	26	46
全社共通	6	4	11	7	4	11	3	5	8
営業利益 合計	173	62	235	100	66	166	105	95	200

(億円)

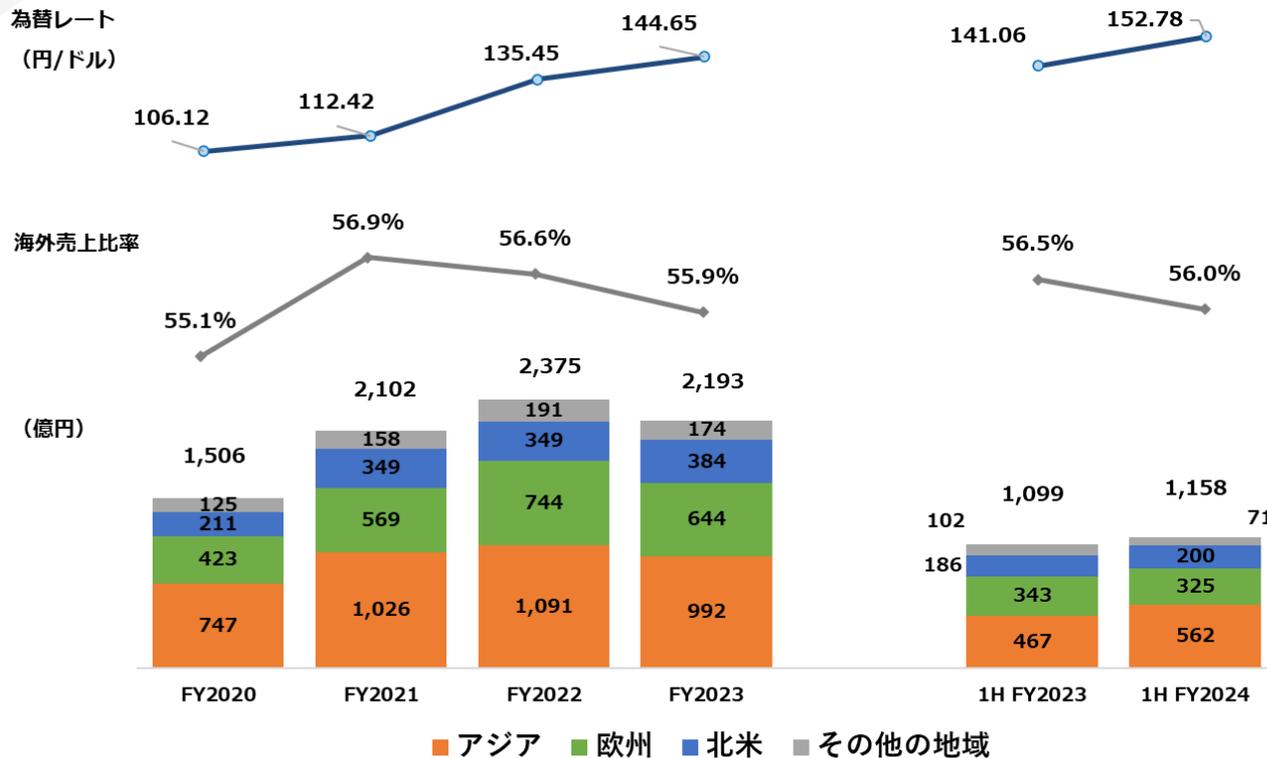
項目	FY2022 上期実績	FY2022 通期実績	FY2023 上期実績	FY2023 通期実績	FY2024 上期実績	FY2024 <通期予想>
設備投資	79	177	83	168	96	420
減価償却費及び償却費	148	293	160	319	158	320
研究開発費	77	158	77	151	79	159
EBITDA	352	560	266	493	290	564
有利子負債残高	624	576	493	456	387	644
親会社の所有者に帰属する持分	3,666	3,622	3,796	3,834	3,815	3,795
資産合計	5,451	5,233	5,404	5,441	5,227	5,600
D/Eレシオ(倍)	0.17	0.16	0.13	0.12	0.10	0.17
自己資本比率(%)	67.3	69.2	70.2	70.5	73.0	67.8
売上高営業利益率(%)	7.9	5.6	5.1	4.2	5.1	4.8
ROA(%)	7.6	5.0	3.7	2.9	4.7	4.2
ROE(%)	7.9	5.5	3.7	3.0	4.7	4.3

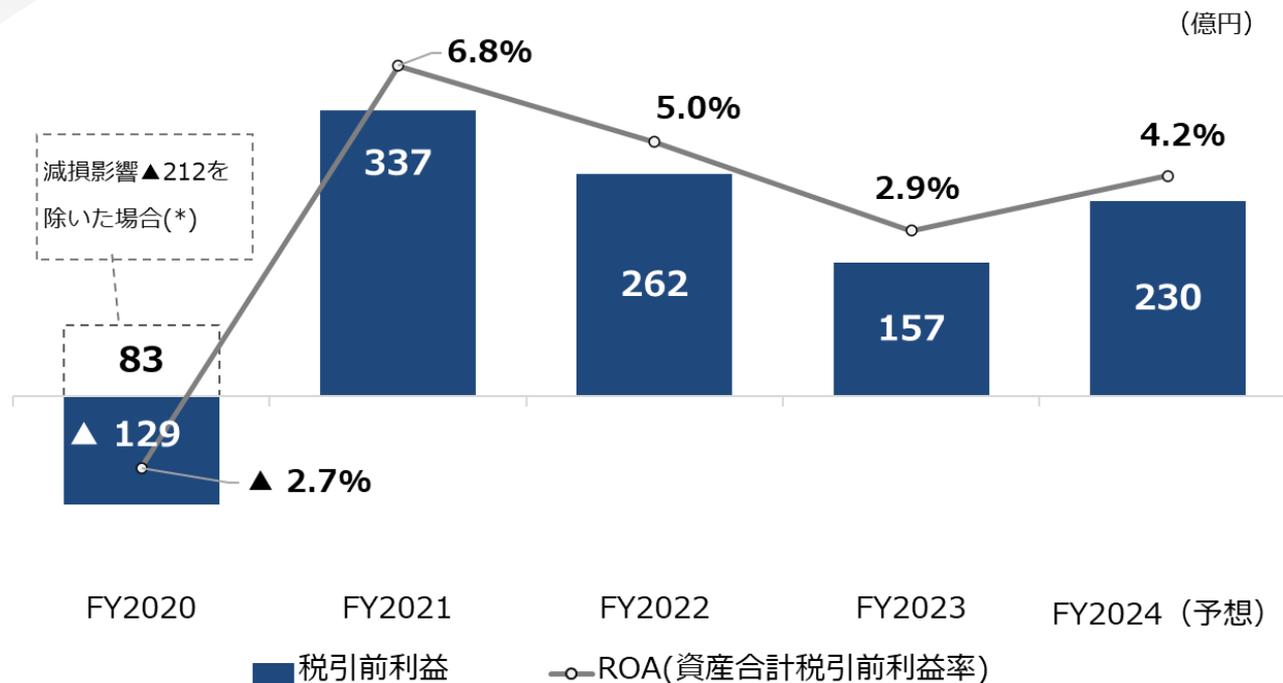
	1H FY2021	2H FY2021	1H FY2022	2H FY2022	1H FY2023	2H FY2023	1H FY2024	2H FY2024(E)
ナフサ価格 (円/kL)	50,600	62,700	83,800	69,500	65,600	72,700	78,000	73,000
円/ドル	110	115	134	137	141	148	153	145
円/ユーロ	131	130	139	143	153	160	166	160





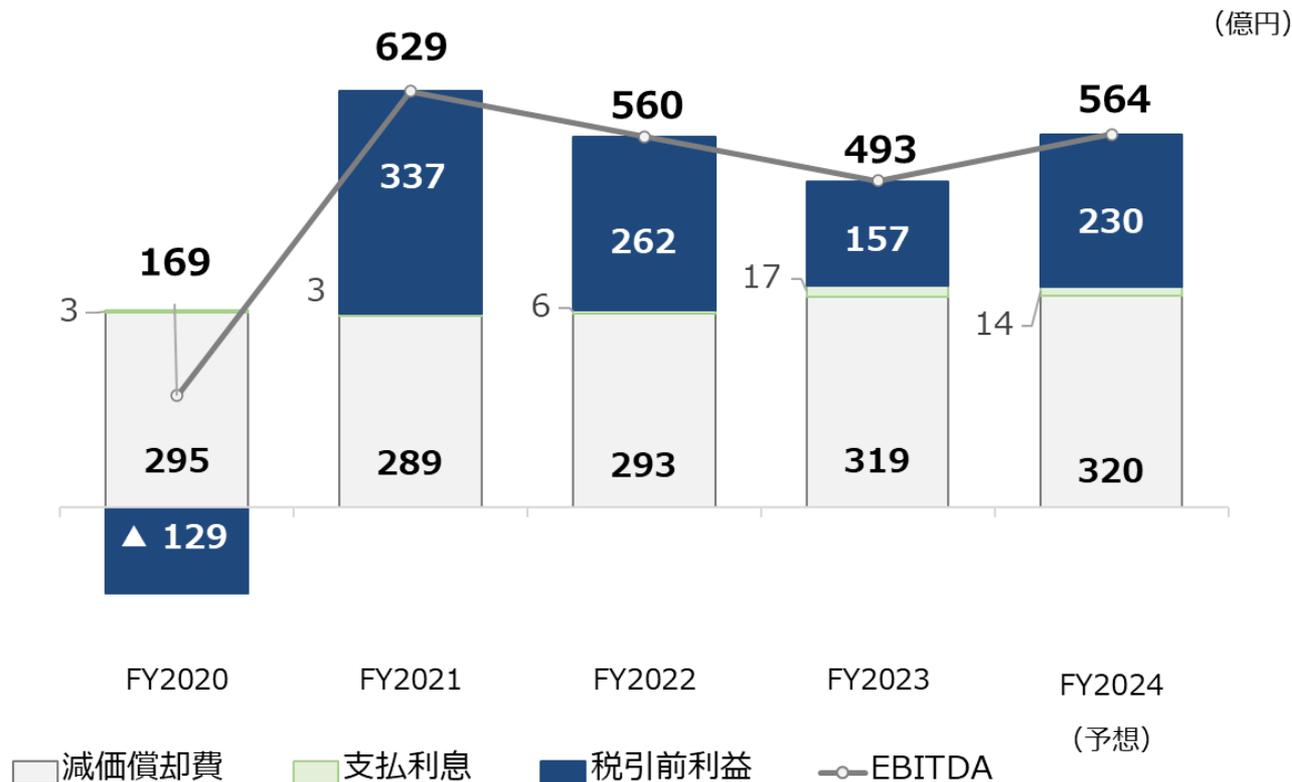
海外売上実績推移



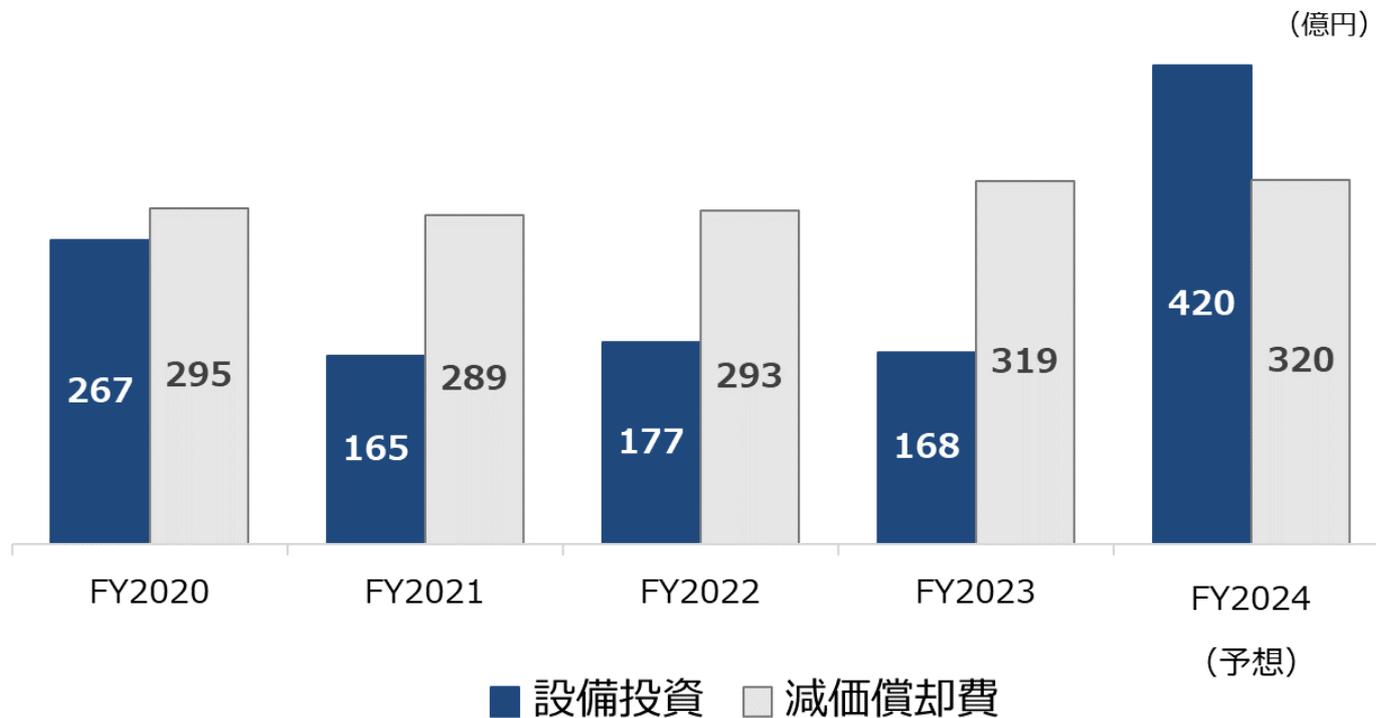


(*)2020年度に当社連結子会社ニッポンショクバイ・ヨーロッパ N.V. の固定資産及びシラス,Inc.の のれん及び無形資産の減損損失を計上しており、その影響を除いた場合の税引前利益を括弧内に示しております。

EBITDAの推移

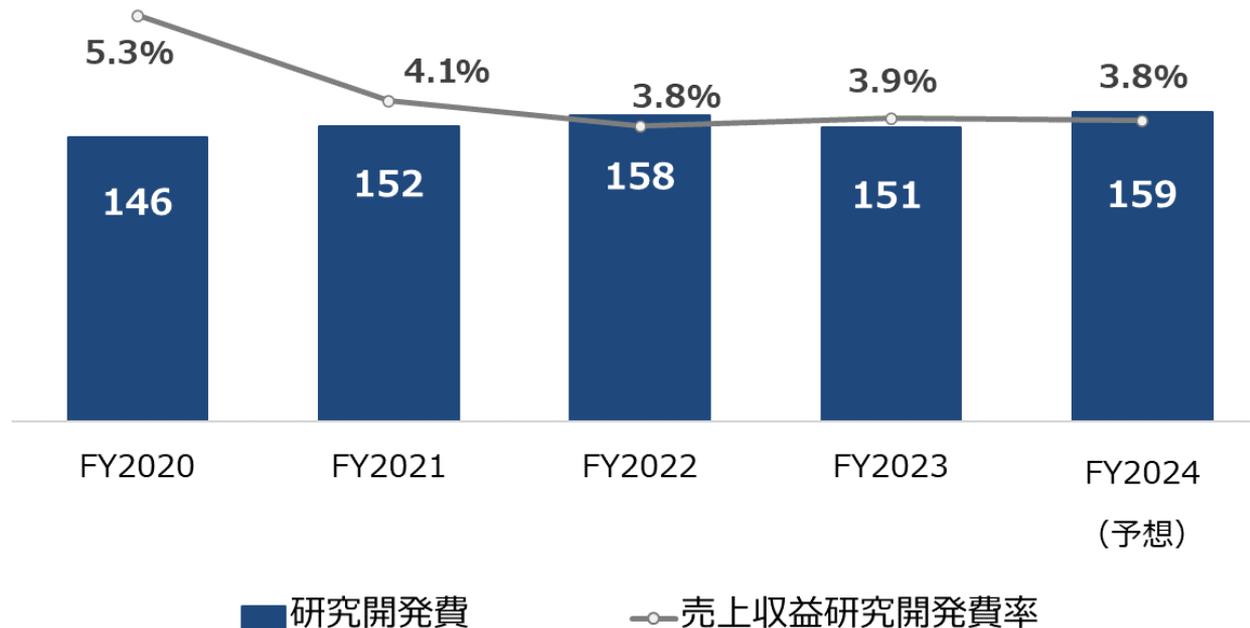


設備投資額と減価償却費の推移



研究開発費の推移

(億円)



- ◆ 2025年3月期第3四半期 決算発表

2025年2月6日(木) 15:00

この予定は、都合により予告なく変更となる可能性があります。

本資料は、投資判断の参考となる情報提供を目的としているものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。また、記載されている内容は、資料作成時点で入手可能な情報に基づき当社が判断した内容を含んでおり、記載された内容を確約したり、保証するものではありません。実際の業績は、様々な要因により、異なる結果となる場合があります。

お問合せ先：

株式会社日本触媒 コーポレート・コミュニケーション部

E-mail: ns_ir@shokubai.co.jp